入院病棟: 主治医: 患者氏名: 病棟 受け持ち看護師: No.1/3 月 月  $\Box$ 月  $\Box$  $\boldsymbol{\mathsf{H}}$ 月  $\boldsymbol{\mathsf{H}}$ 月  $\boldsymbol{\mathsf{H}}$ 月  $\Box$ 月  $\Box$ 2日目 3日目 4日目 5日目 6日目 7日目 入院当日 (手術5日前) (手術4日前) (手術3日前) (手術2日前) (手術6日前) (手術前日) 目標 ・血圧測定や薬の自己管理ができる 毎日看護師と ・感染症になりやすいなど、薬の副作用が理解できる 評価します 内服 • 免疫抑制剤の内服 🥢 開始 (8時·20時) 注射 採血 採血 小雷図 ブドウ糖負荷試験 • 8時~23時 ・レントゲン 免疫抑制剤 検査 • 呼吸機能検査 血中濃度採血 • 血圧脈波 骨密度(日付未定) 透析9:15から 透析がある方 透析9:15から。 透析9:15から 📮 透析室は3階です 治療 循環器内科 口腔外科受診 **処置** □腔外科 眼科 などの受診があります。 食事 21時から絶食 透析食もしくは腎不全食がでます 栄養指導があります 飲水 必ずシャワー浴して 清潔 透析日以外はシャワー浴ができます ください ₩°C ウロゼント、もしくは尿カメで24時間蓄尿をしていただきます 排泄 安静 院内は自由に活動してください 活動 ・病棟をご案内しま 麻酔科医師と手術室 説明 医師より手術の説明があるので の看護師による術前 • 薬剤師が免疫抑制 家族の同席をお願いします 指導 訪問があります 剤の説明をします



主治医: 患者氏名: 入院病棟: 病棟 受け持ち看護師: No.2/3月  $\Box$ 月  $\Box$ 月  $\Box$ 月  $\Box$ 月  $\Box$ 月  $\Box$ 月 Н 8日目(手術当日) 9日目 10日目 11日目 12日目 13日目 14日目 15日目 手術後 (術後3日目) (術後5日目) 手術前 (術後1日目) (術後2日目) (術後4日目) (術後6日目) (術後7日目) 安静が守られている 歩行ができる 尿閉の症状・所見がない 水分管理の必要性がわかる ・拒絶反応の症状・所見がない(尿量が保たれている) 目標 創痛のコントロールができている 毎日看護師と バイタルサインが安定している 評価します 自分で薬の管 合併症の症状・所見がない:口胸部症状 口出血 薬を間違いなく内服できる 理ができる □腹部膨満感 • 点滴を抜去し 点滴をします 点滴をします 点滴をします 点滴を ・点滴の管が入っ します ます ています 内服 退院基準:口身の回りのことが自分でできる ・薬は6時に内服 • 20時から免疫 □創感染症がない 注射 抑制剤を内服しま します 口創痛が自制内で経過する す 免疫抑制剤の 採血 免疫抑制剤の 免疫抑制剤の 免疫抑制剤の 免疫抑制剤の 免疫抑制剤の 免疫抑制剤の ・レントゲン 血中濃度採血 血中濃度採血 血中濃度採血 血中濃度採血 血中濃度採血 血中濃度採血 血中濃度採血 8時 4/2 8~23時《 2時 2時 • 6時 検査 部8 部8 8時 • 尿検査 and the second • 尿検査 🧳 ・レントゲン 尿検査 and the second 採血 mm² • 膀胱造影 ガーゼ交換 ガーゼ交換 ・ガーゼ交換 治療 • 口腔外科受診 • 硬膜外麻酔抜 ドレーン抜去 処置 医師の許可で飲水 昼から全粥、夕 7時~絕飲食 食事 可能です から常食となり 飲水 ます おしぼりで顔を拭 ドレーンがまだ挿入されている場合は防水テープをして 着替えをします タオルで体を拭きます 4 清潔 きます シャワー浴できます 検査後、尿道留 ←蓄尿再開 <del>WC</del> 尿道留置カテーテルがはいっています 置カテーテル抜 排泄 病棟内 寝返りは 看護師と 着護師と 歩行します。 安静 できます • 安静度白由 活動 服薬指導があり 自己管理を行います 説明 ・術後は病棟を移動します 8階西病棟に 2 🌽 🕖 ます 指導 ・深呼吸、痰出しをします 戻ってきます

	患者氏名:			\$  入院病棟:y			病棟  主治	区	: 受け持ち看護師 :								No.3/3
	月 日	月日	月	日	月	日	月 日		月 日	月	日	月	日	月	日	月	日
	16日目	17日目	18日目		19日目		20日目		21日目	22E	22日目		23日目		24日目 2		:退院
	(術後8日目)	(術後9日目)	(術後10	日目)	(術後11	日目)	(術後12日目	)	(術後13日目)	(術後14	4日目)	(術後15	日目)	(術後16	日目)	(術後17	日目)
目標	・水分管理の必要	<ul><li>日常生活の注意点にご</li></ul>									. —						
	<ul><li>自分で薬の管理</li></ul>						: 口薬を飲み続ける必要性がわかる						<b>○</b> 臣又				
	<ul><li>●・創痛のコントロールができている</li><li>●・拒絶の反応、所見がない(尿量が保たれている)</li></ul>										・日常生活の注意点について理解できる:口退院後の緊急時の対処がわかる 口退院後の生活について分からな						
		ر <del>ر</del>	1						いことを聞くことができる								
内服																	
	<ul><li>免疫抑制剤の</li></ul>				<ul><li>免疫抑制</li></ul>		<ul><li>免疫抑制剤(</li></ul>		<ul><li>免疫抑制剤の</li></ul>								
検査	血中濃度採血 8時 ~~				血中濃度 8~236		血中濃度採I 2時 《※		血中濃度採血8時								
快旦	<ul><li>● 8時</li><li>● 尿検査</li></ul>				. Pt全本	40	2時 <u>《</u> クレアチニント			,							
	Á					Ó	査	^	<ul> <li>尿検査</li> </ul>								
治療				•						•							,
処置																	
食事 飲水																	
清潔																	
									ノアチニン検査								
排泄							6:00~		6:00迄								
安静							(1回目は破棄)		(最後はためる)								
活動																	
									、移植科(								
説明			時期については前後する場合があります。							や、受診!					0		
指導		<ul><li>薬剤指導</li><li>栄養指導</li></ul>		₹0	り郁度は	<b>まお知らせします。</b>					であれば					ж.Л	
		1、少民汨会			<i>(</i> *1)							ュール表 は前後す <sup>。</sup>					
										1,12,0,0						- J C	

退院基準:口身の回りのことが自分でできる 口創感染症がない □創痛が自制内で経過する